

# 春日山原始林は、こんな課題に直面しています

## 後継樹の生育不良

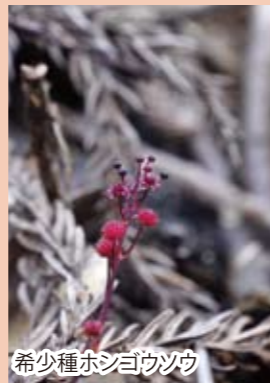
原生的な照葉樹林を主に構成しているシイ・カシ類などの実生や幼樹が少なくなっています。このため、原始林が将来的に衰退していくことが危惧されています。



ウラジロガシの実生

## 下層植生の衰退

原始林では、絶滅危惧種を含む希少な下層植生が、今もなおみられます。その一方で、土壌流出が原因となり、シダ植物などをはじめとした下層植生が衰退しています。



希少種ホシヨウソウ

## ナギ、ナンキンハゼの拡大

シカの忌避植物であるナギやナンキンハゼが、原始林内へ拡大し、着実にその生息範囲を広げているため、原生的な照葉樹林が徐々に変容してきています。



ナギの拡大

## ナラ枯れ被害の拡大

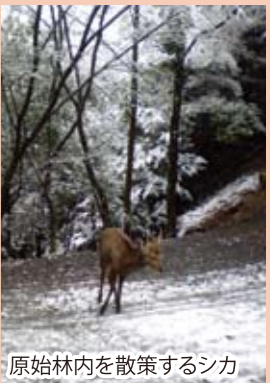
カシノナガキクイムシが樹木に穿入し、媒介した共生菌（ナラ菌）によって樹木が枯死するナラ枯れが、原生的な照葉樹林を構成するシイ・カシ類に発生しています。



ナラ枯れ被害の大径木

## 原始林といきものとの共生

原始林は、「奈良のシカ」をはじめ、様々ないきものの貴重な生息地です。しかしながら、下層植生の減少など、原始林とともに、その生息環境も徐々に変容しています。



原始林内を散策するシカ

# 私たちは、こんな活動をしています

## 主な活動内容を紹介します。

サポート会員はこれらの活動に優先的に参加することができます。

### ●調査・研究

大径木の分布状況、野鳥や昆虫の生息状況、ナンキンハゼやナギの拡大状況、ナラ枯れの拡大状況など。原始林の現状と課題を把握するため、実態調査を実施しています。



大径木分布状況調査

### ●実作業の実施

管理主体の県と調整を図りながら、ナギ・ナンキンハゼの拡大抑制作業、植生保護柵の維持・管理など。原始林の保全再生に必要な実作業を実施しています。また、会員向けに作業に必要な研修も実施しています。



植生保護柵の維持管理

### ●普及啓発及び教育

原始林の植生観察会、天然記念物奈良のシカと原始林の関わりを学ぶガイドツアーなど。より多くの方に原始林に関心をもってもらえるよう、講演会や観察会などを開催しています。



観察会の開催

### ●参画の支援

実作業に関する問合せ、実作業への参加申し込み、本会への入会申し込みなど。より多くの方に原始林の保全再生の取り組みに携わっていただけるよう、窓口の役割を担っています。



各種問合せの対応

### ●関係団体等との交流

県が主体となり、原始林の保全再生を目的に検討を進めている有識者委員会の傍聴など。原始林の保全再生を目的に取り組んでいる関係団体等との交流・連携を図っています。



関係委員会の傍聴

### ●その他

原始林は、保全再生に取り組む一方で、地域の貴重な資産としての活用が図られています。奈良公園一帯の活性化に寄与できるよう、県設立基金との連携など、様々な取り組みを展開しています。



奈良公園の活性化

## 活動を通じて、貴重な経験が得られます。



まもる

春日山原始林の保全再生を目的に、ナラ枯れ被害状況の確認、ナギやナンキンハゼの拡大抑制など、原始林を未来へまもるための作業ができます。



楽しむ

世代、性別、立場を超えて、春日山原始林の保全再生に共感する人たちと一緒に、春日山原始林という貴重な場所で楽しく作業ができます。



観察する

実作業の結果を、継続して観察することで、実際の状態を踏まえながら、春日山原始林の成り立ちや、現状と課題などを学び、学ぶことができます。

## 活動予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ナラ枯れ被害状況の把握調査					ナラ枯れ被害の拡大時期				ナラ枯れ被害状況の把握調査			
ナギ・ナンキンハゼの拡大抑制作業	県ナラ枯れ対策の実施										県ナラ枯れ対策の実施	
観察会の開催	春の観察会				夏の観察会				秋の観察会			冬の観察会
			ヤマビル発生時期									
	拡大抑制作業						拡大抑制作業					